

新学習指導要領の国語科の目標に、「伝え合う力」という文言が登場し、互いの考えを表現し、理解し合う力を高めることが求められています。ここでは、その中でも「話すこと・聞くこと」の授業を行う上でのアイデアをまとめてみました。

Q 「話すこと・聞くこと」の力を育てる授業を始めたいのですが、単元の導入に当たって、児童の意欲を高め、話すことへの抵抗感をやわらげるアイデアはありませんか。



A こんな単元の導入の方法はいかがでしょう。

- 1 これから、上手な話し方についての勉強を始めます。
- 2 まずは、隣の席の人と向き合って立ちましょう。
- 3 「よろしくお願いします」と言って握手をしたら座りましょう。

この時、恥ずかしがって握手をしない児童がいても必ず握手をさせます。そのために起立、着席をさせます。握手もできない人間関係ではこの後がうまくいきません。笑顔にかくした厳しい目でチェックしましょう。

- 4 話題、つまり話の題名は、これで決めます。

と、かくしておいたサイコロを出し、続いて話題の表を黒板にはります。

大きなサイコロをふったら1が出たよ。

今度の話題は何かな。 何だかわくわくするね。

今度の話題は、「好きなテレビ番組」だって。

それなら、ほくも話せるよ。

話題

好きなテレビ番組

(好きな遊び)

好きな食べ物

(好きな場所)

(好きな本)

(好きな季節)

- ① 画用紙に書き、黒板に提示しておく。
- ② 「話題」には、大判の付箋紙(弱粘着ラベル)を貼り、見えないようにしておく。
- ③ 教師や児童が巨大なサイコロをふり、出た目の話題に貼ってある付箋紙をはがす。